

GLP-1 受容体作動薬による心血管イベント抑制効果について

心血管疾患を有する2型糖尿病（DM）患者9463例を対象に、GLP-1 受容体作動薬 albiglutide の心血管イベント抑制効果と安全性を検討した結果（Harmony Outcomes 試験）が、Lancet 誌に報告されました。



中央値 1.6 年の追跡の結果、心血管死、心筋梗塞、脳卒中のいずれかの発生率は albiglutide 群 100 人年当たり 4.6 件、プラセボ群 100 人年当たり 5.9 件で、ハザード比は 0.78 となり、albiglutide の優越性が示されました。



また、各構成要素のハザード比は、心筋梗塞 0.75、心血管死亡 0.93、脳卒中 0.86 であり、心筋梗塞のみが有意でありました。